

## 第 59 回 IRIDeS 金曜フォーラムを開催しました (2018/11/30)

テーマ：東北大学災害科学国際研究所からの情報発信

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>

平成 30 年 11 月 30 日(金)に東北大学災害科学国際研究所棟 1 階会議・セミナー室において、「第 59 回 IRIDeS 金曜フォーラム」を開催しました。IRIDeS 金曜フォーラムとは、当研究所で行われている研究・活動の情報を所内のみならず学内外・一般の方々と広く共有し、研究の連携・融合を図ることを目的に、定期的な発表・討論の場として開催しているものです。本フォーラムでは、主に研究所の教員・スタッフから、各部門・分野での国際的・学際的な研究テーマについて話題提供を行います。

今回は『北海道南西沖地震から 25 年、日本海・離島の災害研究』をテーマとして、当研究所 3 名の発表者から、北海道南西沖地震（1993 年）から 25 年を迎えた奥尻島に関する研究成果や、日本の島々の災害との向き合い方などについて話題提供がありました。当日は 30 名ほどの参加をいただき、活発な議論がなされました。

当日の発表題目は以下の通りです。

1. 1993 年北海道南西沖地震津波の家屋被害と津波被害関数  
越村 俊一 教授（災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野）
2. 地方紙における被災地報道の変化-北海道南西沖地震に関する2つの地方紙の報道から-  
定池 祐季 助教（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）
3. 災害と共に生きた島々  
川島 秀一 シニア研究員（人間・社会対応研究部門）

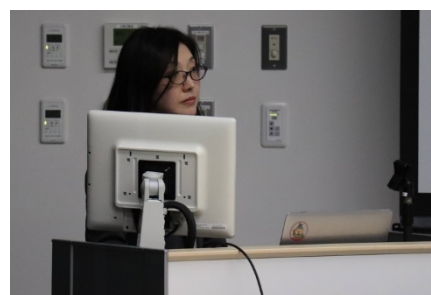
司会・進行：佐藤 健 教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

次回第 60 回は、2018 年 1 月 25 日（金）16：30～ 東北大学 災害科学国際研究所棟 1 階会議・セミナー室にて『実務者と研究者の連携による実践的な防災・復興』をテーマに開催いたします。

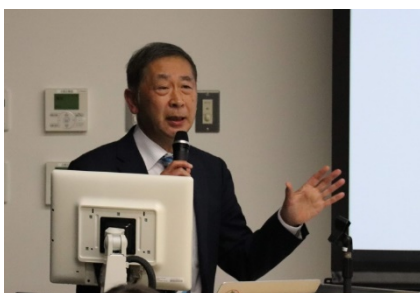
詳しくは、HP をご覧ください。(<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>)



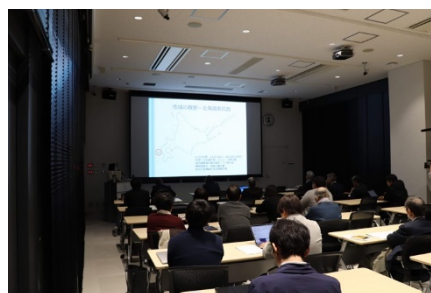
越村 俊一 教授



定池 祐季 助教



川島 秀一 シニア研究員



会場の様子

文責：定池祐季（情報管理・社会連携部門）

写真：門廻充侍（災害リスク研究部門）